

文 部 科 学 省

平成21年度 先導的[○]大学改革推進委託事業
(社会のニーズに応える人材養成を目的とした
教育プログラムの在り方に関する調査研究)

報 告 書

【 資 料 編 】

平成22年3月

慶 應 義 塾 大 学

資料編

－目 次－

1. 知識・技能項目の一覧.....	1
2. アンケート調査概要および調査票.....	10
2.1 アンケート調査概要.....	10
2.2 アンケート調査票.....	11
2.2.1 個人（学生／若手社会人）アンケート.....	19
2.2.2 企業等アンケート.....	11

1. 知識・技能項目の一覧

本編 2.3 において整理した、知識・技能項目の一覧を以下に示す。

表 1 知識・技能項目の一覧

大カテゴリ (学士力項目)	中カテゴリ	小カテゴリ	No.	知識技能項目
1-1 : 多文化・異文化	多文化コミュニケーション	(なし)	1-1	多言語・多文化社会概論
			1-2	多文化社会における文化、宗教、言語
			1-3	第二言語と母語教育
	社会論	(なし)	1-4	企業におけるダイバーシティマネジメント (多様性に配慮した組織づくり)
			1-5	多文化地域社会における福祉の実現
			1-6	国際教育・日本語教育
			1-7	メディアリテラシー・情報編集・発信
			1-8	ボランティア・NPO・社会資源
			1-9	参加と協働・ネットワーク
			1-10	地域文化・歴史
	地域伝統	(なし)	1-11	ホスピタリティ
			1-12	文化・歴史遺産
			1-13	英語の仕組みを知って日本語の姿を知る
	日本語	日本語の仕組み	1-14	日本語の仕組みを知って英語の姿を知る
			1-15	科学記事から日米の文化の違いを知る
			1-16	英語でリサーチ (Research)
	英語	英語運用能力 (専門)	1-17	ディスカッション、ディベート、ネゴシエーション
			1-18	聞き、話し
		英語運用能力 (日常生活)	1-19	読み、書き
			英語の構造	1-20
1-2 : 人類の文化・社会と自然	教育技能	(なし)	2-1	授業内容・教材・教具論 (大学における授業設計)
			2-2	カリキュラム編成論 (シラバスの作成方法)
			2-3	成績評価の方法
			2-4	授業改善の方法 (授業評価アンケートを含む)
			2-5	高等教育改革の動向 (GPA、FD、学士課程教育などを含む)

			2-6	TA を通して身につけるティーチング能力			
経済・経営・ビジネス	(なし)		2-7	企業組織の内容と役割			
			2-8	企業の経営戦略			
			2-9	企業分析の方法（目的、手法、会計指標）			
			2-10	サービスサイエンス（IT 技術が牽引きするビジネスイノベーション）			
			2-11	アントレプレナーシップ（企業家精神優れたビジネスチャンスをつかえ事業創出していくための必要なテーマ）			
			2-12	ベンチャー起業論			
			2-13	ものづくり学			
			IT 応用	(なし)		2-14	組込みソフトウェアの動向、課題とその対応
						2-15	次世代ソフトウェア流通
						2-16	ゲームテクノロジーの未来
						2-17	医療事故ヒューマンエラー
						2-18	その他の人文・社会分野
						2-19	その他の理工農分野
2-20	その他の医療・看護・福祉分野						
2-1： コミュニケーション・スキル	プレゼンテーション	(なし)		3-1	パワーポイントの使い方		
				3-2	プレゼンテーションの構成の組み方		
				3-3	効果的な画像やグラフの使い方		
				3-4	話し方と姿勢		
				3-5	効果的な発表方法（時間配分、話し方）		
				3-6	質疑応答の仕方		
				3-7	学会発表での注意点		
				3-8	ビジネスにおけるプレゼンテーション技法		
	論文表現	(なし)			3-9	文章力	
					3-10	構成力	
					3-11	考察力	
					3-12	論理的思考力	
					3-13	表現力	
					3-14	グラントプロポーザル（競争的資金を獲得するための提案書）作成の要点	
	英語表現	コミュニケーション	(なし)			3-15	研究発表の技能
		アカデミック・ライティング				3-16	応答、討議の技能
						3-17	学術論文や英文要約の執筆方法

			3-18	留学や海外時研究助成のための申請書や研究計画書の作成方法	
		アカデミック・プレゼンテーション	3-19	論文作成や研究発表など、科学技術プレゼンテーション全般に要求される英文ライティング能力の基礎	
			3-20	基礎となるライティング能力に会話力を統合させた英語による科学技術プレゼンテーション能力	
2-2： 数量的スキル	教養	(なし)	4-1	数的推理、判断推理	
			4-2	資料解釈	
	リサーチ	マーケティング	4-3	会計簿記	
			4-4	財務諸表	
			4-5	管理会計	
			4-6	営業情報管理	
			4-7	マーケティング	
			4-8	社会調査	
			4-9	統計分析（基礎）	
			統計分析（多変量解析）	4-10	量的社会調査における多変量解析法の概説
				4-11	量的データ解析法
		4-12		基本的な多変量解析法（重回帰分析と因子分析）	
		4-13		発展的な多変量解析法（クラスター分析、分散分析、ロジスティック回帰分析、共分散構造分析など）	
		科学記事読解	4-14	情報系の科学記事から統計のトリックを見破る	
			4-15	生物学系の科学記事から統計のトリックを見破る	
	4-16		化学系の科学記事から統計のトリックを見破る		
	専門	(なし)	4-17	論理学	
			4-18	数学	
			4-19	物理学	
			4-20	統計学	
2-3： 情報リテラシー	IT 基礎	(なし)	5-1	パソコン基礎	
			5-2	文書作成、表計算等ソフトの使い方	
			5-3	CAD	
			5-4	プログラミング	
			5-5	情報セキュリティ	
			5-6	情報収集力と IT スキル	
	映像情報処理	(なし)	5-7	基本的なパソコンと周辺機器の運用スキル	
			5-8	実践的な映像コンテンツ製作	

	オープンソース・ウェブコンテンツ管理	(なし)	5-9	CMS (コンテンツ管理システム) 概論	
			5-10	デザインカスタマイズ (ロゴ変更方法、メインの色の変更方法、CSS の変更方法、)	
			5-11	デザインカスタマイズ(サイトデザイン変更)	
			5-12	オープンソースの概念	
			5-13	オープンソースの使い方 (最新バージョンのダウンロード、バグ報告、コミュニティ参加)	
			5-14	コンテンツ構築 (コンテンツ制作、CMS 登録、コンテンツとデザインの融合)	
			5-15	Web ワークフロー概論	
			5-16	Web ワークフローカスタマイズ方法の解説	
			5-17	多言語サイトの構築	
			5-18	テンプレートのカスタマイズ	
			5-19	システム運用	
			5-20	オープンソース CMS に求められる姿	
	2-4 : 論理的思考力	ロジカルシンキング	論理的に思考を整理する技術	6-1	重複、漏れ、ずれをなくす整理
6-2				グルーピングによる整理	
論理的に思考を構成する技術			6-3	論理の階層化 (結論と根拠、結論とその方法)	
			6-4	論理のパターン (並列型と解説型)	
戦略的思考		(なし)	6-5	問題意識の涵養	
			6-6	戦略的思考法	
			6-7	創造的思考法	
			6-8	アイデア出しの方法	
			6-9	戦略の策定プロセス	
リサーチ		調査と方法	6-10	アクション・リサーチの理論	
			6-11	調査対象者との関係	
			6-12	インタビュー実習	
			6-13	インタビューの技法	
			6-14	ビデオ撮影と編集の基本	
			6-15	映像資料の作成とその効果的な利用方法	
			6-16	社会問題へのアプローチ方法	
			6-17	調査者の社会的役割	
			科学記事読解	6-18	生物学系の科学記事から論理的思考法を磨く
				6-19	化学系の科学記事から論理的思考力を磨く
				6-20	物理学系の科学記事から論理的思考力を磨く

2-5 : 問題解決力	一般	意思決定のプロセス	7-1	問題の分類と定義づけ
			7-2	問題の境界条件（目標と達成基準）の明確化
			7-3	全ての境界条件を満たす正しい決断
			7-4	決断の実行とフィードバック
		留意点	7-5	複雑な意思決定の単純化（一貫性ある目標や選択肢の価値比較・置き換え（イーブンスワップ法））
			7-6	対人関係の罣（言行の不一致、認識のずれなど）
			7-7	アンカリング（意識の固定化）の罣
			7-8	現状主義の罣
			7-9	フレーミング（問題の視点・枠組みの設定）の罣
			7-10	リスク管理
	協調学習	一般教養	7-11	自然界の科学現象に関する問題発見
			7-12	他者への説明
			7-13	討論の仕方
			7-14	科学現象の実験による検証
		専門	7-15	グループでの課題解決
			7-16	知識の伝達
			7-17	学びあうコミュニティ形成の実践
	研究活動	(なし)	7-18	研究計画の立案
			7-19	研究の推進力
			7-20	研究の分析力
3-1 : 自己管理能力	健康	(なし)	8-1	ストレスとのつきあい方
			8-2	息の抜き方の習得
			8-3	栄養管理
			8-4	生活習慣の変化
			8-5	自己の理解
	社会人としての心構え	(なし)	8-6	集団の中における規律、役割および責任
			8-7	日本人としての自覚
	ビジネスマナー（社会人としての基本的マナー）	(なし)	8-8	企業の求める求人像
			8-9	自己分析
			8-10	自己 PR の仕方
			8-11	接遇
			8-12	容姿・服装への配慮
			8-13	日々の時間や仕事の期限の厳守
			8-14	適切な挨拶、言葉使い
			8-15	電話の受け答えや名刺交換の方

				法
	仕事の進め方	(なし)	8-16	組織内外の人間関係と公私の区別
			8-17	状況の変化を想定した計画の策定
			8-18	常に問題意識を持ち積極的に取り組む姿勢
			8-19	日々の仕事の整理と報告
			8-20	自分の仕事に対する自分自身での評価
3-2： チームワーク、リーダーシップ	人との関わり	思いやりと共同の心	9-1	集団の中における自己の役割および責任
			9-2	思いやりの心と、チームワークの重要性
		リーダーシップと判断力	9-3	リーダーシップやチームワークの大切さ
			9-4	判断力とチームワークの重要性
			9-5	集団の中における規律、役割および責任
	ディスカッションの方法	(なし)	9-6	ディスカッションを行う上でのルール
			9-7	ディスカッションのテクニック
			9-8	ディベートの説明・実践
	行動力とスピード	(なし)	9-9	研究や仕事の効率的同時処理能力
			9-10	実行とスピード
	研究活動	一般	9-11	共同研究
			9-12	シンポジウムへの参加
			9-13	ワークショップ（研究集会の企画運営）
			9-14	フィールドワーク（国内、国外現地調査）
9-15			サーベイ・リサーチ（調査票による量的調査）	
海外		9-16	海外インターンシップ（海外NGO等で行う短期研修）	
		9-17	プレゼンテーション・アブロード（海外研究集会での外国語発表）	
		9-18	現地の学生との意見交換や交流	
		9-19	ディベート力と交渉力	
		9-20	コミュニケーション力と人的ネットワーク力	
3-3： 倫理観	倫理一般	思いやりと共同の心	10-1	日本人としての自覚
			10-2	人を思いやる心と共同の心
			10-3	共同体の行動価値
			10-4	人として生きることの意義や生きがい

	倫理専門	科学技術者倫理	10-5	科学技術者の倫理が問われる理由	
			10-6	科学技術者が重視すべき価値（専門職集団と倫理綱領）	
			10-7	倫理的問題解決の方法	
			10-8	企業における科学技術者の責任と権利（企業倫理と科学技術者倫理）	
			10-9	事例の検討（スペースシャトル・チャレンジャー号爆発事故など）	
			10-10	国際社会における科学技術者の倫理	
			10-11	研究を行う上での倫理（研究倫理）	
			他の専門領域	10-12	情報倫理（ネットモラル等）
		10-13		医療・看護倫理	
		10-14		企業倫理（コンプライアンス等）	
		国民性からみた倫理	歴史上の日本人の生き方	10-15	歴史上の人物をとおした、日本人としての生き方・考え方
				10-16	日本の神話と世界の神話を比較した、日本人の特色
			日本人の国民性	10-17	日本の近代工業化の歩み
	10-18			外国からみた日本の文化や価値観	
	宗教・文化と価値観		10-19	日本人の宗教と道徳	
			10-20	世界の宗教と文化	
	3-4： 市民としての社会的責任	個人としての責任	(なし)	11-1	飲酒と喫煙
				11-2	ライフイベント（就職、結婚、出産等）
				11-3	肉体の健全さと心の健全さ
				11-4	年齢に応じたと能力の変化
技術者としての責任		技術者になるということ	11-5	技術者になるということの意味	
			11-6	企業や社会が求める技術者	
		技術者の責任と倫理	11-7	科学技術と倫理学	
			11-8	専門職者の倫理規約	
			11-9	企業倫理と技術者の責任、及び予想される技術者の葛藤	
		技術者倫理に関する事例と技術者の	11-10	技術者と安全	

		あるべき姿		
		11-11	身近な事故例と技術者の役割	
		11-12	技術者の権利とやりがい	
		技術者の資質	11-13	個人の自立と技術者の資質
		11-14	技術者のライフプラン	
	社会としての責任	企業と社会	11-15	企業と社会との関係
			11-16	日本の雇用形態と給与形態の変化
			11-17	日本社会の転換の方向と課題
			11-18	C S R（企業の社会的責任）、S R I（社会的責任投資）
		地球環境の持続可能性（Sustainability）問題と技術者	11-19	世界の人口増大と地球環境問題
11-20			環境問題と技術者の役割	
3-5：生涯学習力	情報収集の方法	(なし)	12-1	図書館の利用方法（データベース利用による情報検索方法等）
			12-2	インターネットを利用した情報収集方法
			12-3	新聞・雑誌を利用した資料収集方法
			12-4	著作権保護について（複写ページ制限や引用・出典の明記など）
			12-5	資料の整理方法（ファイリングの方法）
			12-6	資料の整理方法（電子データ化の方法）
	文献の読み方	(なし)	12-7	専門書と一般書・啓蒙書等の違い
			12-8	専門書・論文の読み方と要約の仕方
			12-9	書籍、新聞を読む習慣
	受動的な学習の管理	(なし)	12-10	学習の実行と振り返り
			12-11	達成度の自己評価
	能動的な学習の方法	一般	12-12	授業の受け方（大学等における講義方法の特徴、ノートテイクの方法等）

			12-13	効果的な学習方法
			12-14	レポートの書き方
			12-15	資格試験講座
		計画と実行	12-16	能動的な学習の個人としての計画
			12-17	プレゼンテーション
			12-18	チームとしての企画、合意形成
			12-19	チームワーク
			12-20	様々な実行における振り返り、気づき、改善
4： 統合的な 学習経験と創 造的思考力	キャリアデザイン	一般	13-1	自己分析
			13-2	キャリア・プランニング
			13-3	時事経済、業界・職種の研究
			13-4	ビジネスマナー
		起業	13-5	企画立案スキル
			13-6	会計、労務、知財等の関連法規
			13-7	事業計画（ビジネスプラン）の作成
		研究	13-8	研究戦略の構想
			13-9	研究とワークライフバランス
			13-10	競争的資金獲得のための研究計画書作成
	経営・マネジメン ト	(なし)	13-11	プロジェクトマネジメント
			13-12	ブランドマネジメント
			13-13	知財マネジメント
			13-14	人財・組織マネジメント
			13-15	イノベーション
アイデアの創出・ 評価	アイデアの創出	13-16	製品（システム、ソフトウェア等を含む）の調査と分析	
		13-17	顧客の要望の調査と分析	
		13-18	製品を改善するための設計仕様の作成	
	アイデアの評価	13-19	社会問題を解決するためのアイデアの創出・評価	
		13-20	モデルを用いた課題の解析と工学的判断に基づく解決策検討	

2. アンケート調査概要および調査票

2.1 アンケート調査概要

本調査研究において実施したアンケート調査の概要を以下に示す。

表 2 アンケート調査概要

調査対象	調査内容	調査内容	実査方法	回収サンプル数
①企業等	企業等における従業員の採用ニーズおよび育成（研修）ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学・大学院卒業生に期待する知識・技能 ・ 社会人（入社 3 年目程度）に期待する知識・技能 	goo リサーチのビジネスモニターのうち、担当業務が「人事」である者（モニター数約 2,200 人。自治体職員、NPO 等、含む）を活用。	521 件
②個人（学生／若手社会人）	個人的な学習に関する学習ニーズ分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学・大学院卒業時に身につけたい知識・技能（習得意向） ・ 個人のキャリアデザインにおける評価（大学の研究者志向／企業の技術者志向） 	goo リサーチの消費者モニター（モニター数約 42 万人）を活用。	523 件

2.2 アンケート調査票

2.2.1 企業等アンケート

あなたの会社における従業員教育の考え方についてお聞きします。

※ 会社としての正式な回答ではなく、人事担当者としての個人的なお考えを回答いただければ結構です。

問1 新卒者（新入社員）に対する希望

採用する大学等新卒者（新入社員）に対する希望をお聞きします。

問1-1 身につけておいて欲しい知識・技能

採用する大学等新卒者（新入社員）に入社までに身につけておいて欲しい知識・技能は何ですか。あてはまる教育分野を下表※から選択してください。

※ 下表は、文部科学省中央教育審議会が提示した「学士課程共通の学習成果に関する参考指針（学士力）」に基づき、全国の大学が提供している教育プログラムを参考にして、本アンケートのために作成したものです。カテゴリの階層構造や内容例はあくまで1つの例としてお考え下さい。

最大3つまでお答えください。

※ 2つ目、3つ目は任意。

大カテゴリ（学士力）		内容例	希望する教育分野
1. 知識・理解	1-1：多文化・異文化に関する知識の理解	多文化コミュニケーション、社会論、地域伝統、日本語、英語など	<input type="checkbox"/>
	1-2：人類の文化、社会と自然に関する知識の理解	教育技能、経済・経営・ビジネス、IT応用など	<input type="checkbox"/>
2. 汎用的技能	2-1：コミュニケーション・スキル	プレゼンテーション、論文表現、英語表現など	<input type="checkbox"/>
	2-2：数量的スキル	数的推理、マーケティング、統計分析、科学記事読解、数学など	<input type="checkbox"/>
	2-3：情報リテラシー	パソコン基礎、CAD、プログラミング、情報セキュリティ、ウェブコンテンツ管理など	<input type="checkbox"/>
	2-4：論理的思考力	ロジカルシンキング、戦略的思考、調査と方法など	<input type="checkbox"/>
	2-5：問題解決力	意思決定プロセス、討論の仕方、知識の伝達、研究計画立案など	<input type="checkbox"/>
3. 態度・志向性	3-1：自己管理能力	ストレスとの付き合い方、規律と責任、ビジネスマナー、仕事の進め方など	<input type="checkbox"/>
	3-2：チームワーク、リーダーシップ	役割と責任、判断力、ディスカッションの方法、行動力とスピード、共同研	<input type="checkbox"/>

		究など	
	3-3：倫理観	思いやりと共同の心、専門職者の倫理、国民性からみた倫理など	<input type="checkbox"/>
	3-4：市民としての社会的責任	個人としての責任、技術者としての責任、社会としての責任など	<input type="checkbox"/>
	3-5：生涯学習力	情報収集の方法、受動的な学習の管理、能動的な学習の方法など	<input type="checkbox"/>
4. 統合的な学習経験と創造的思考力		キャリアデザイン、経営・マネジメント、アイデアの創出・評価など	<input type="checkbox"/>

ここからは、問 1-1 で選択した全ての教育分野について、それぞれお聞きします。

問 1-2 教育を希望する内容

問 1-1 で選択した教育分野のそれぞれについて、以下に 20 個ずつ教育テーマを示しました。これらの中から、大学等新卒者（新入社員）に対して、あなたが教育したいと考える 5 つ以上のテーマを選び、教育を希望する内容（知識または技能、あるいは両方）をおこたえください。

※ 5 つ以上のテーマの中から、知識、技能、或いは両方を選択してください。

1 つ目に選択した教育分野（大カテゴリ）： ●●●●

教育分野		教育テーマ	教育を希望する内容	
中カテゴリ	小カテゴリ		知識	技能
●●●●	●●●●	テーマ1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		テーマ2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		...		
		テーマ15	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

< 選択肢は省略。実際のアンケート画面では、問 1-1 で 1 つ目に選択した教育分野が表頭●●●●の部分に表示され、該当する中カテゴリ、小カテゴリ、教育テーマ（1 カテゴリにつき 20 項目）が表示されます。以下、同様に「2 つ目」「3 つ目」が続きます。>

問 1-3 重要度

問 1-1 で選択した教育分野のそれぞれについて、以下に 20 個ずつ教育テーマを示しました。これら各教育テーマに関わる知識・技能は、大学等新卒者（新入社員）の日常業務において、どの程度重要だと思われますか。

※ 全てのテーマについてお答えください。

※ 「教育内容」欄には、問 1-2 であなたが希望した教育内容（知識または技能、あるいは両方）が表示されていますので、この内容に対してお答えください。

※ なお、問 1-2 で未選択だったテーマについては、「教育内容」欄に何も表示さ

れていませんが、知識と技能の両方の教育内容に対してお答えください。

1 つ目に選択した教育分野（大カテゴリ）： ●●●

教育分野		教育テーマ	教育内容	重要	←	→	重要でない
中カテゴリ	小カテゴリ						
●●●●	●●●●	テーマ1	▲▲	5	4	3	2 1
		テーマ2	▲▲	5	4	3	2 1
		...					
		テーマ15	▲▲	5	4	3	2 1

＜選択肢は省略。実際のアンケート画面では、問 1-1 で 1 つ目に選択した教育分野が表頭●●の部分に表示され、該当する中カテゴリ、小カテゴリ、教育テーマ（1 カテゴリにつき 20 項目）が表示されます。また問 1-2 で選択した教育内容（知識または技能、あるいは両方）が▲▲の部分に表示されます。以下、同様に「2 つ目」「3 つ目」が続きます。＞

問 1-4 獲得困難度

問 1-1 で選択した教育分野のそれぞれについて、以下に 20 個ずつ教育テーマを示しました。大学等新卒者（新入社員）にとって、各教育テーマに関わる知識・技能を身につける際の困難さは、どの程度だと思われますか。

- ※ 全てのテーマについてお答えください。
- ※ 「教育内容」欄には、問 1-2 であなたが希望した教育内容（知識または技能、あるいは両方）が表示されていますので、この内容に対してお答えください。
- ※ なお、問 1-2 で未選択だったテーマについては、「教育内容」欄に何も表示されていませんが、知識と技能の両方の教育内容に対してお答えください。

1 つ目に選択した教育分野（大カテゴリ）： ●●●

教育分野		教育テーマ	教育内容	困難	←	→	困難でない
中カテゴリ	小カテゴリ						
●●●●	●●●●	テーマ1	▲▲	5	4	3	2 1
		テーマ2	▲▲	5	4	3	2 1
		...					
		テーマ15	▲▲	5	4	3	2 1

＜選択肢は省略。実際のアンケート画面では、問 1-1 で 1 つ目に選択した教育分野が表頭●●の部分に表示され、該当する中カテゴリ、小カテゴリ、教育テーマ（1 カテゴリにつき 20 項目）が表示されます。また問 1-2 で選択した教育内容（知識または技能、あるいは両方）が▲▲の部分に表示されます。以下、同様に「2 つ目」「3 つ目」が続きます。＞

問2 若手従業員（入社3年目程度）に対する希望

次に、入社3年目程度の若手従業員に対する希望をお聞きします。

問2-1 身につけておいて欲しい知識・技能

若手従業員に入社後3年目までに身につけておいて欲しい知識・技能は何ですか。
あてはまる教育分野を下表から選択してください。

最大3つまでお答えください。

※ 2つ目、3つ目は任意。

大カテゴリ（学士力）		内容例	希望する教育分野
1. 知識・理解	1-1：多文化・異文化に関する知識の理解	多文化コミュニケーション、社会論、地域伝統、日本語、英語など	<input type="checkbox"/>
	1-2：人類の文化、社会と自然に関する知識の理解	教育技能、経済・経営・ビジネス、IT応用など	<input type="checkbox"/>
2. 汎用的技能	2-1：コミュニケーション・スキル	プレゼンテーション、論文表現、英語表現など	<input type="checkbox"/>
	2-2：数量的スキル	数的推理、マーケティング、統計分析、科学記事読解、数学など	<input type="checkbox"/>
	2-3：情報リテラシー	パソコン基礎、CAD、プログラミング、情報セキュリティ、ウェブコンテンツ管理など	<input type="checkbox"/>
	2-4：論理的思考力	ロジカルシンキング、戦略的思考、調査と方法など	<input type="checkbox"/>
	2-5：問題解決力	意思決定プロセス、討論の仕方、知識の伝達、研究計画立案など	<input type="checkbox"/>
3. 態度・志向性	3-1：自己管理能力	ストレスとの付き合い方、規律と責任、ビジネスマナー、仕事の進め方など	<input type="checkbox"/>
	3-2：チームワーク、リーダーシップ	役割と責任、判断力、ディスカッションの方法、行動力とスピード、共同研究など	<input type="checkbox"/>
	3-3：倫理観	思いやりと共同の心、専門職者の倫理、国民性からみた倫理など	<input type="checkbox"/>
	3-4：市民としての社会的責任	個人としての責任、技術者としての責任、社会としての責任など	<input type="checkbox"/>
	3-5：生涯学習力	情報収集の方法、受動的な学習の管理、能動的な学習の方法など	<input type="checkbox"/>
4. 統合的な学習経験と創造的思考力		キャリアデザイン、経営・マネジメント、アイデアの創出・評価など	<input type="checkbox"/>

ここからは、問 2-1 で選択した全ての教育分野について、それぞれお聞きします。

問 2-2 教育を希望する内容

問 2-1 で選択した教育分野のそれぞれについて、以下に 20 個ずつ教育テーマを示しました。これらの中から、入社 3 年目程度の若手従業員に対して、あなたが教育したいと考える 5 つ以上のテーマを選び、教育を希望する内容（知識または技能、あるいは両方）をおこたえください。

※ 5 つ以上のテーマの中から、知識、技能、或いは両方を選択してください。

1 つ目に選択した教育分野（大カテゴリ）： ●●●

教育分野		教育テーマ	教育を希望する内容	
中カテゴリ	小カテゴリ		知識	技能
●●●●	●●●●	テーマ1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		テーマ2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		...		
		テーマ15	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

< 選択肢は省略。実際のアンケート画面では、問 2-1 で 1 つ目に選択した教育分野が表頭●●●の部分に表示され、該当する中カテゴリ、小カテゴリ、教育テーマ（1 カテゴリにつき 20 項目）が表示されます。以下、同様に「2 つ目」「3 つ目」が続きます。>

問 2-3 重要度

問 2-1 で選択した教育分野のそれぞれについて、以下に 20 個ずつ教育テーマを示しました。これら各教育テーマに関わる知識・技能は、入社 3 年目程度の若手従業員の日常業務において、どの程度重要だと思われますか。

- ※ 全てのテーマについてお答えください。
- ※ 「教育内容」欄には、問 2-2 であなたが希望した教育内容（知識または技能、あるいは両方）が表示されていますので、この内容に対してお答えください。
- ※ なお、問 2-2 で未選択だったテーマについては、「教育内容」欄に何も表示されていませんが、知識と技能の両方の教育内容に対してお答えください。

1 つ目に選択した教育分野（大カテゴリ）： ●●●

教育分野		教育テーマ	教育内容	重要 ← → 重要でない				
中カテゴリ	小カテゴリ			5	4	3	2	1
●●●●	●●●●	テーマ1	▲▲	5	4	3	2	1
		テーマ2	▲▲	5	4	3	2	1
		...						
		テーマ15	▲▲	5	4	3	2	1

＜選択肢は省略。実際のアンケート画面では、問 2-1 で 1 つ目に選択した教育分野が表頭●●の部分に表示され、該当する中カテゴリ、小カテゴリ、教育テーマ（1 カテゴリにつき 20 項目）が表示されます。また問 1-2 で選択した教育内容（知識または技能、あるいは両方）が▲▲の部分に表示されます。以下、同様に「2 つ目」「3 つ目」が続きます。＞

問 2-4 獲得困難度

問 2-1 で選択した教育分野のそれぞれについて、以下に 20 個ずつ教育テーマを示しました。入社 3 年目程度の若手従業員にとって、各教育テーマに関わる知識・技能を身につける際の困難さは、どの程度だと思われますか。

- ※ 全てのテーマについてお答えください。
- ※ 「教育内容」欄には、問 2-2 であなたが希望した教育内容（知識または技能、あるいは両方）が表示されていますので、この内容に対してお答えください。
- ※ なお、問 2-2 で未選択だったテーマについては、「教育内容」欄に何も表示されていませんが、知識と技能の両方の教育内容に対してお答えください。

1 つ目に選択した教育分野（大カテゴリ）： ●●●

教育分野		教育テーマ	教育内容	困難 ← → 困難でない				
中カテゴリ	小カテゴリ			5	4	3	2	1
●●●●	●●●●	テーマ1	▲▲	5	4	3	2	1
		テーマ2	▲▲	5	4	3	2	1
		...						
		テーマ15	▲▲	5	4	3	2	1

＜選択肢は省略。実際のアンケート画面では、問 2-1 で 1 つ目に選択した教育分野が表頭●●の部分に表示され、該当する中カテゴリ、小カテゴリ、教育テーマ（1 カテゴリにつき 20 項目）が表示されます。また問 1-2 で選択した教育内容（知識または技能、あるいは両方）が▲▲の部分に表示されます。以下、同様に「2 つ目」「3 つ目」が続きます。＞

問 3 従業員教育に関する企業負担費用

御社における従業員教育に関わる費用として、御社が負担できる金額は年間いくら程ですか。従業員 1 人あたりの年間平均額を概算でお答えください（全く負担できな

い場合は、0円と回答してください。

_____円

問4 従業員教育の場

従業員教育の場として、どのような場が妥当だと思われますか。あてはまるものを全てお答えください。

- ・ 自宅
- ・ 企業内
- ・ 駅ビル、ショッピングセンターなどの商業施設
- ・ 役所・役場、公民館、図書館、NPOなどの公的施設
- ・ ハローワーク、ジョブカフェなどの公共職業紹介関連施設
- ・ 職業訓練所などの公共教育訓練施設
- ・ 大学や大学院などで社会人を対象とした科目・コースなど
- ・ 専門学校や高等学校などで社会人を対象とした科目・コースなど
- ・ 民間の講座や教室
- ・ 民間の通信教育
- ・ パソコンやインターネット
- ・ その他 ()

問5 大学への期待

問5-1

従業員教育の一環として、大学等が社会人向けに実施する講座などの教育プログラムを活用する場合に、期待することは何ですか。あてはまるものを全てお答えください。

- ・ 体系的教育の充実
- ・ より理論的な教育の充実
- ・ 知識や技能だけでなく、方法論や考え方に関する教育プログラムの充実
- ・ 理論と実践のバランスのとれた教育プログラムや講師陣の検討
- ・ 実践的な教育プログラムの充実（ケーススタディーやロールプレイングなど）
- ・ 分野横断的な教育の充実
- ・ 知財やMBAなどのビジネスに直結する高度専門的分野の教育の充実
- ・ 実務の最先端の人の講義
- ・ 職業人出身の講師、メンターの充実
- ・ 企業との連携と企業ニーズの把握の充実
- ・ 自己分析などのカウンセリングの充実
- ・ 社会人向けの時間帯を工夫するなど受講生の立場に立った運営
- ・ その他
- ・ 特にない ()

問5-2

従業員教育の一環として、大学等との連携についてお聞きします。下記のうち該当するものを、＜実績＞と＜今後の希望＞のそれぞれから選択してください。

＜実績＞

- ・ 大学等に従業員に対する再教育を依頼した
- ・ 大学等に従業員教育のための教育プログラムの開設を要望した
- ・ 大学等に御社が有するスキル情報等を提供した
- ・ 大学等に御社が有する教育プログラムを提供した（講師派遣を含む）
- ・ 大学等からインターンシップ等により受講者を受け入れた
- ・ その他（ ）
- ・ 特にない

＜今後の希望＞

- ・ 大学等に従業員に対する再教育を依頼する
- ・ 大学等に従業員教育のための教育プログラムの開設を要望する
- ・ 大学等に御社が有するスキル情報等を提供する
- ・ 大学等に御社が有する教育プログラムを提供する（講師派遣を含む）
- ・ 大学等からインターンシップ等により受講者を受け入れる
- ・ その他（ ）
- ・ 特にない

2.2.2 個人（学生／若手社会人）アンケート

本アンケートでは、一般の社会人向けに大学や教育サービス事業者が提供している教育プログラムなどを通して、個人が日々の仕事や生活のなかで自ら行う学習（以下、個人的な学習※とよびます）についてお聞きします。

※ ここでいう個人的な学習とは、仕事や職業に関する能力を自発的に向上させるための学習です。仕事や職業に関係のない趣味、娯楽、スポーツは含まれません。同様に、勤務先の指示により、受講する研修は含まれません。

問1 年齢と仕事

問1-1

あなたのご年齢を教えてください。

- ・ 20歳未満
- ・ 20歳以上 25歳未満
- ・ 25歳以上 30歳未満
- ・ 30歳以上 35歳未満
- ・ 35歳以上 40歳未満
- ・ 40歳以上 45歳未満
- ・ 45歳以上 50歳未満
- ・ 50歳以上 55歳未満
- ・ 55歳以上 60歳未満
- ・ 60歳以上

問1-2

あなたの現在の仕事を教えてください。

- ・ 正規・雇用者（管理職、専門技術職、事務職、労務職等）
- ・ 非正規・雇用者（パート従業者、派遣登録者等）
- ・ 自営業主
- ・ 家族従業者
- ・ フリーター
- ・ 学生
- ・ 子育て等により職業を中断し、現在は無職、家事手伝い
- ・ 学校を卒業後、これまで一度も仕事に就いたことがない →問2へ
- ・ 上記以外で無職、家事手伝い
- ・ その他（ ）

問1-3

あなたはこれまでに、転職をしたことがありますか。

- ・ 転職したことがある

- ・ 転職したことがない →問2へ

問1-4

転職したことがあると答えた方にお聞きします。最初の転職は、入社何年目でしたか？

_____年目

問2 自身のキャリアデザイン

あなたは将来、どのような仕事をしたいと考えていますか。(現在の仕事を将来も続けたいと考えている方は、現在の仕事をおこなってください。)

- ・ 公務員・非営利団体職員
- ・ 会社・団体の経営者・役員(起業家を含む)
- ・ 事務職
- ・ 技術・専門職
- ・ 研究職
- ・ 販売・サービス職
- ・ 教職員
- ・ 医師・医療技術士・医療関係者
- ・ 自営業
- ・ 農林漁業
- ・ 弁護士・公認会計士・税理士
- ・ 自由業
- ・ フリーター
- ・ その他()

問3 個人的な学習の経験および意向

これまで個人的な学習を行ったことがありますか。

- ・ 経験があり、今後も続けたい(再度行いたい) →問4へ
- ・ 経験はあるが、今後、続けたいとは思わない(再度行いたいとは思わない) →問6へ
- ・ 経験はないが、今後、してみたい →問4へ
- ・ 経験はなく、今後、してみたいとは思わない →問6へ

問4 個人的な学習の目的

問3で個人的な学習を今後も続けたい、或いは今後、してみたいとお答えの方にお聞きします。個人的な学習の目的は何ですか。あてはまるものを全てお答えください。

- ・ 教養を高めるため
- ・ 高度な専門的知識を身につけるため

- ・ 他の人との親睦を深めたり、友人を得るため
- ・ 家庭・日常生活を充実させるため
- ・ 地域や社会をよりよくするため
- ・ 資格を取得するため
- ・ 昇進や昇格のため
- ・ 現在の仕事に役立てるため
- ・ 将来の就職や転職に役立てるため
- ・ 将来の独立や起業のため
- ・ 社会の進歩に遅れないよう、世の中のことを知るため
- ・ 自由時間を有効に活用するため
- ・ 老後の人生を有意義にするため
- ・ その他（ ）
- ・ 特に理由はない

問5 個人的な学習の場

個人的な学習を行なう場合、どのような場所で学習したいですか。あてはまるものを全てお答えください。

- ・ 自宅
- ・ 勤務先
- ・ 駅ビル、ショッピングセンターなどの商業施設
- ・ 役所・役場、公民館、図書館、NPOなどの公的施設
- ・ ハローワーク、ジョブカフェなどの公共職業紹介関連施設
- ・ 職業訓練所などの公共教育訓練施設
- ・ 大学や大学院などで社会人を対象とした科目・コースなど
- ・ 専門学校や高等学校などで社会人を対象とした科目・コースなど
- ・ 民間の講座や教室
- ・ 民間の通信教育
- ・ パソコンやインターネット
- ・ その他（ ）

問6 個人的な学習の障害

あなたが、個人的な学習を行ううえで障害になると思うことは何ですか。あてはまるものを全てお答えください。

(問3で個人的な学習をしたいとは思わないとお答えの方は、その理由としてあてはまるものを全てお答えください。)

- ・ 仕事が忙しくて時間がない
- ・ 家事が忙しくて時間がない

- ・ 子どもや親などの世話をしてくれる人がいない
- ・ 費用がかかる
- ・ 必要な情報（内容・時間・場所・費用）がなかなか入手できない
- ・ 一緒に学習や活動をする仲間がいない
- ・ 身近なところに施設や場所がない
- ・ 講座や教室などが、自分の希望や実施時期・時間に合わない
- ・ 家族や職場など周囲の理解が得られない
- ・ 学習の結果・成果が勤務先に評価されない
- ・ 学習の結果・成果が社会的に評価されない
- ・ きっかけがつかめない
- ・ そういうことは好きではなく、めんどうである
- ・ どのような内容を学習してよいかわからない
- ・ 個人的な学習は必要ない
- ・ その他（ ）
- ・ 特に障害はない

問7 希望する学習プログラム分野

あなたは、個人的な学習として、どのような内容を学習したいとお考えですか。学習した経験の有無に関わらず、希望する学習分野を下表※から選択してください。

（問3で個人的な学習をしたいとは思わないとお答えの方は、仮に、問6の個人的な学習の障害が取り除かれた場合に、個人的な学習を行うことを想像してお答えください。）

※ 下表は、文部科学省中央教育審議会が提示した「学士課程共通の学習成果に関する参考指針（学士力）」に基づき、全国の大学が提供している教育プログラムを参考にして本アンケートのために作成したものです。カテゴリの階層構造や内容例はあくまで1つの例としてお考え下さい。

最大3つまでお答えください。

※ 2つ目、3つ目は任意。

大カテゴリ（学士力）		内容例	希望する学習分野
1. 知識・理解	1-1：多文化・異文化に関する知識の理解	多文化コミュニケーション、社会論、地域伝統、日本語、英語など	<input type="checkbox"/>
	1-2：人類の文化、社会と自然に関する知識の理解	教育技能、経済・経営・ビジネス、IT応用など	<input type="checkbox"/>
2. 汎用的技能	2-1：コミュニケーション・スキル	プレゼンテーション、論文表現、英語表現など	<input type="checkbox"/>
	2-2：数量的スキル	数的推理、マーケティング、統計分	<input type="checkbox"/>

		析、科学記事読解、数学など	
	2-3：情報リテラシー	パソコン基礎、CAD、プログラミング、情報セキュリティ、ウェブコンテンツ管理など	<input type="checkbox"/>
	2-4：論理的思考力	ロジカルシンキング、戦略的思考、調査と方法など	<input type="checkbox"/>
	2-5：問題解決力	意思決定プロセス、討論の仕方、知識の伝達、研究計画立案など	<input type="checkbox"/>
3. 態度・志向性	3-1：自己管理能力	ストレスとの付き合い方、規律と責任、ビジネスマナー、仕事の進め方など	<input type="checkbox"/>
	3-2：チームワーク、リーダーシップ	役割と責任、判断力、ディスカッションの方法、行動力とスピード、共同研究など	<input type="checkbox"/>
	3-3：倫理観	思いやりと共同の心、専門職者の倫理、国民性からみた倫理など	<input type="checkbox"/>
	3-4：市民としての社会的責任	個人としての責任、技術者としての責任、社会としての責任など	<input type="checkbox"/>
	3-5：生涯学習力	情報収集の方法、受動的な学習の管理、能動的な学習の方法など	<input type="checkbox"/>
4. 統合的な学習経験と創造的思考力		キャリアデザイン、経営・マネジメント、アイデアの創出・評価など	<input type="checkbox"/>

問8 知識・技能の有無、習得意向、活用意向

ここからは、問7で選択した全ての学習分野について、それぞれお聞きします。

(問3で個人的な学習をしたいとは思わないとお答えの方は、仮に、問6の個人的な学習の障害が取り除かれた場合に、個人的な学習を行うことを想像してお答えください。)

問8-1 学習を希望する内容

問7で選択した学習分野のそれぞれについて、以下に20個ずつ学習テーマを示しました。これらの中から、あなたが学習したいと考える5つ以上のテーマについて、学習を希望する内容(知識または技能、あるいは両方)をお選びください。

※5つ以上のテーマの中から、知識、技能、或いは両方を選択してください。

1 つ目に選択した学習分野（大カテゴリ）： ●●●

学習分野		学習テーマ	学習を希望する内容	
中カテゴリ	小カテゴリ		知識	技能
●●●●	●●●●	テーマ1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		テーマ2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		...		
		テーマ15	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

< 選択肢は省略。実際のアンケート画面では、問 7 で 1 つ目に選択した学習分野の大カテゴリが表頭●●●に表示され、該当する中カテゴリ、小カテゴリ、学習テーマ（1 カテゴリにつき 20 項目）が表示されます。以下、同様に「2 つ目」「3 つ目」が続きます。>

問 8-2 知識・技能の有無

問 7 で選択した学習分野のそれぞれについて、以下に 20 個ずつ学習テーマを示しました。あなたは現在、これら各学習テーマに関する知識・技能を身につけていると思いますか。

- ※ 全てのテーマについてお答えください。
- ※ ただし、問 8-1 で選択したテーマについては、「学習内容」欄に表示されている、あなたが希望した学習内容（知識または技能、あるいは両方）に対してお答えください。
- ※ また、問 8-1 で未選択だったテーマについては、「学習内容」欄に何も表示されていませんが、知識と技能の両方の学習内容に対してお答えください。

1 つ目に選択した学習分野（大カテゴリ）： ●●●

学習分野		学習テーマ	学習内容	身につけている ← → 身につけていない				
中カテゴリ	小カテゴリ			5	4	3	2	1
●●●●	●●●●	テーマ1	▲▲	5	4	3	2	1
		テーマ2	▲▲	5	4	3	2	1
		...						
		テーマ15	▲▲	5	4	3	2	1

< 選択肢は省略。実際のアンケート画面では、問 7 で 1 つ目に選択した学習分野の大カテゴリが表頭●●●に表示され、該当する中カテゴリ、小カテゴリ、学習テーマ（1 カテゴリにつき 20 項目）が表示されます。また問 8-1 で選択した学習内容（知識または技能、あるいは両方）が▲▲の部分に表示されます。以下、同様に「2 つ目」「3 つ目」が続きます。>

問 8-3 習得意向

問 7 で選択した学習分野のそれぞれについて、以下に 20 個ずつ学習テーマを示しました。あなたは現在、これら各学習テーマに関する知識・技能を習得したいと思いますか。

- ※ 全てのテーマについてお答えください。
- ※ ただし、問 8-1 で選択したテーマについては、「学習内容」欄に表示されている、あなたが希望した学習内容（知識または技能、あるいは両方）に対してお答えください。
- ※ また、問 8-1 で未選択だったテーマについては、「学習内容」欄に何も表示されていませんが、知識と技能の両方の学習内容に対してお答えください。

1 つ目に選択した学習分野（大カテゴリ）： ●●●

学習分野		学習テーマ	学習内容	習得したい	← → 習得したくない				
中カテゴリ	小カテゴリ				5	4	3	2	1
●●●●	●●●●	テーマ1	▲▲	5	4	3	2	1	
		テーマ2	▲▲	5	4	3	2	1	
		...							
		テーマ15	▲▲	5	4	3	2	1	

< 選択肢は省略。実際のアンケート画面では、問 7 で 1 つ目に選択した学習分野の大カテゴリが表頭●●●に表示され、該当する中カテゴリ、小カテゴリ、学習テーマ（1 カテゴリにつき 20 項目）が表示されます。また問 8-1 で選択した学習内容（知識または技能、あるいは両方）が▲▲の部分に表示されます。以下、同様に「2 つ目」「3 つ目」が続きます。>

問 8-4 活用意向

問 7 で選択した学習分野のそれぞれについて、以下に 20 個ずつ学習テーマを示しました。あなたが仮に、これらの各学習テーマに関する知識・技能を身につけているとした場合、その知識・技能を日々の仕事や生活のなかで実際に活用したいと思えますか。

- ※ 全てのテーマについてお答えください。
- ※ ただし、問 8-1 で選択したテーマについては、「学習内容」欄に表示されている、あなたが希望した学習内容（知識または技能、あるいは両方）に対してお答えください。
- ※ また、問 8-1 で未選択だったテーマについては、「学習内容」欄に何も表示されていませんが、知識と技能の両方の学習内容に対してお答えください。

1 つ目に選択した学習分野（大カテゴリ）： ●●●

学習分野		学習テーマ	学習内容	活用したい ←				→ 活用したくない
中カテゴリ	小カテゴリ							
●●●●	●●●●	テーマ1	▲▲	5	4	3	2	1
		テーマ2	▲▲	5	4	3	2	1
		...						
		テーマ15	▲▲	5	4	3	2	1

＜選択肢は省略。実際のアンケート画面では、問 7 で 1 つ目に選択した学習分野の大カテゴリが表頭●●●に表示され、該当する中カテゴリ、小カテゴリ、学習テーマ（1 カテゴリにつき 20 項目）が表示されます。また問 8-1 で選択した学習内容（知識または技能、あるいは両方）が▲▲の部分に表示されます。以下、同様に「2 つ目」「3 つ目」が続きます。＞

問 9 大学が実施する、社会人向け教育プログラムに対する期待

大学等が社会人向けに実施する講座などの教育プログラムに対して、あなたが期待することは何ですか。あてはまるものを全てお答えください。

- ・ 体系的教育の充実
- ・ より理論的な教育の充実
- ・ 知識や技能だけでなく、方法論や考え方に関する教育プログラムの充実
- ・ 理論と実践のバランスのとれた教育プログラムや講師陣の検討
- ・ 実践的な教育プログラムの充実（ケーススタディーやロールプレイングなど）
- ・ 分野横断的な教育の充実
- ・ 知財や MBA などのビジネスに直結する高度専門的分野の教育の充実
- ・ 実務の最先端の人の講義
- ・ 職業人出身の講師、メンターの充実
- ・ 企業との連携と企業ニーズの把握の充実
- ・ 体験や事例を使うなど、わかりやすい説明
- ・ 少人数でのグループワーク
- ・ インターンシップなど実習の充実
- ・ 自己分析などのカウンセリングの充実
- ・ 地域の人の経験談話会などの交流
- ・ 社会人も留学生と交流できる機会
- ・ 留学制度の充実
- ・ 受けやすい料金の設定
- ・ 託児などの付加サービスの充実
- ・ 社会人向けの時間帯を工夫するなど受講生の立場に立った運営
- ・ 開放的で近づきやすい雰囲気
- ・ その他（ ）
- ・ 特になし

問10 キャリア意識

あなたは、就職や昇進、転職、独立などにより、自分がキャリアアップしていくうえで、何が重要だとお考えですか。あてはまるものを全てお答えください。

- ・ 収入が増えること
- ・ やりがいを感じることに
- ・ 自分の能力を發揮できること
- ・ 仕事を楽しめること
- ・ 職場の仲間や顧客に喜ばれること
- ・ 職場の仲間や顧客が自分を必要としてくれること
- ・ 社会的な地位が向上すること
- ・ 長い期間を継続的に働けること
- ・ 仕事の内容が楽であること
- ・ 仕事に拘束される時間が短いこと
- ・ 時間短縮勤務や育児休暇などのワークライフバランス（仕事と生活の調和）を考慮した制度が充実していること
- ・ 職場に気の合う仲間がいること
- ・ 職場の雰囲気がよいこと
- ・ 職場の場所・立地がよいこと
- ・ その他（ ）
- ・ 特にな

問11 個人的な学習に関する負担費用

個人的な学習に関わる費用として、ご自分が負担できる金額は月間いくら程ですか。概算でお答えください（全く負担できない場合は、0円と回答してください）。

_____円